

課題内容

阪神・淡路大震災の教訓として、都市そのものの安全性の確保が大切なことが再確認されました。

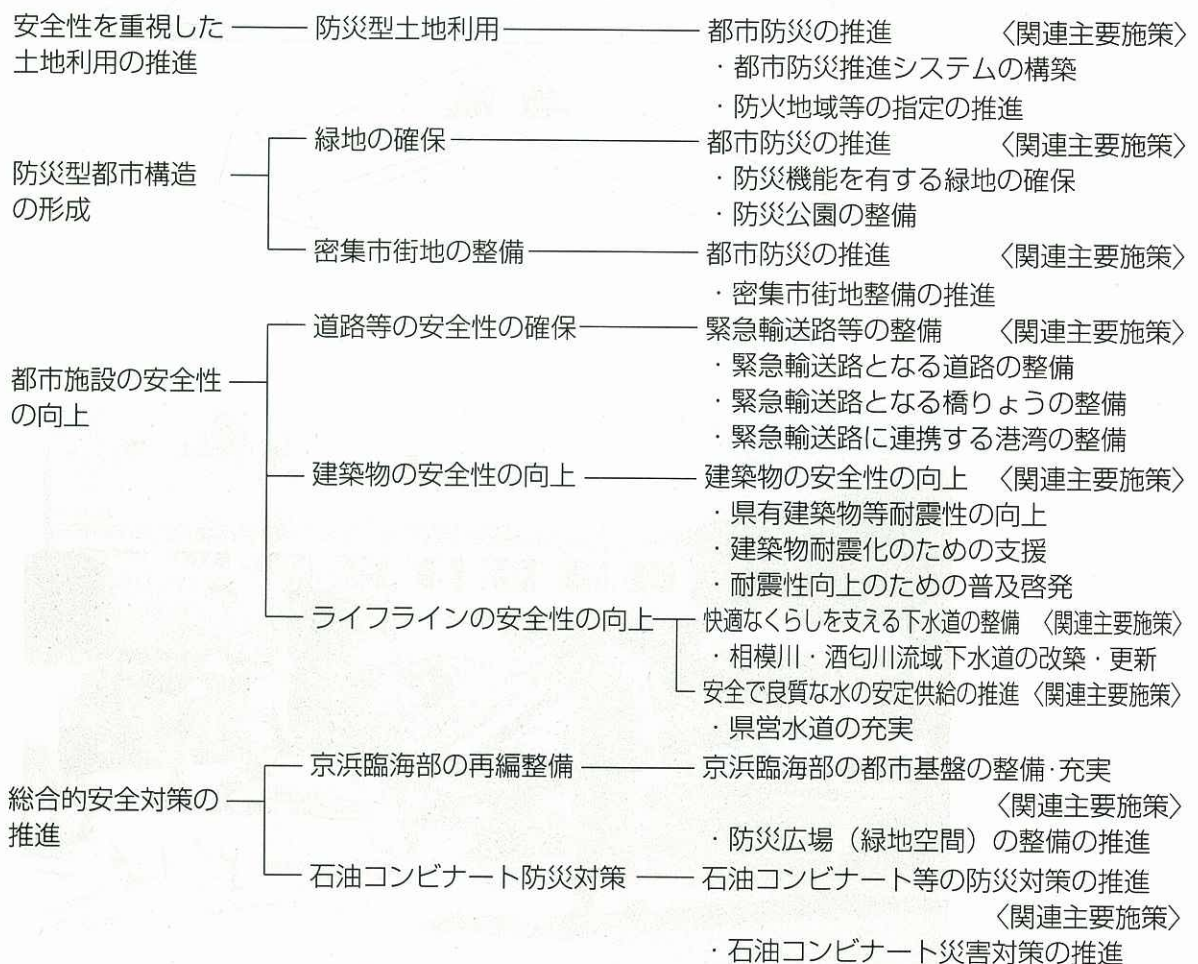
一方、神奈川県は、3つのプレートが複雑に入り組んだ岩盤上に、830万人の県民と多くの事業所が集積する地震災害に脆弱な都市を形成しています。

また、21世紀の成熟社会にあっては、社会資本整備のあり方も、新規投資から、維持補修・更新投資に、すなわち、フローからストック重視になります。

こうした条件の中で、地震に強い、安全な県土づくりを進めるためには、土地利用のあり方、都市基盤や都市施設を、より「安全性」を重視したものに転換させることが課題となっています。

そこで、県・市町村はもとより県民と一体となって、土地利用、ストックの形成など、更新・維持にあたって「安全」への配慮を重視し、中・長期にわたる取組みの中で、安全な都市づくりを進めるとともに、緊急的・重点的な課題として、「緊急地震防災対策」に取り組みます。

政策展開の方向



《重点プロジェクト》

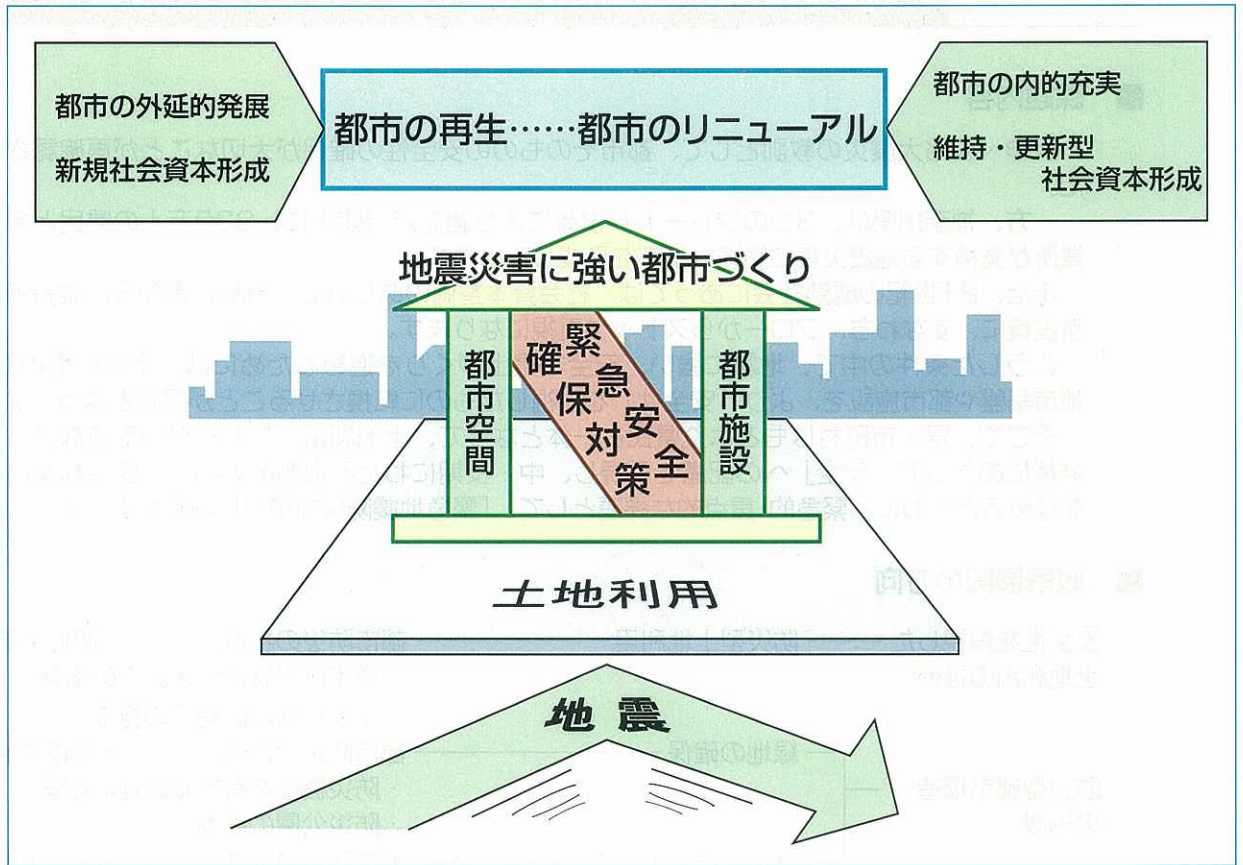
緊急地震防災対策

- ・災害時情報対策の強化
- ・災害時活動拠点の整備及び機能強化
- ・応急活動用装備の強化
- ・広域応援体制の確立
- ・市町村支援体制の確立

《関連重点プロジェクト》 ○京浜臨海部の再生に向けたまちづくりの推進

■ 概念図

重点政策課題



防災訓練

〈ねらい〉

神奈川県では、東海地震、南関東地域直下の地震、その一つとしての神奈川県西部地震の切迫性が指摘されています。

こうした大規模地震に対応するため、地震に強い建築物、都市施設の整備や防災空間の確保を図る等の防災まちづくりを進めていますが、地震がいつどこで発生するか判らない状況下では、被害の拡大を最小限に食い止めるために、早急に発災時応急対応力の向上を図る必要があります。

そこで、防災情報の収集・伝達体制の強化、災害対策本部等の初動・応急活動体制の確立、救援・救護・救助・医療活動及び消火活動等の強化を図ります。

〈構成する施策と展開の方向〉

(1) 災害時情報対策の強化

- ・防災行政無線等の再整備など、現在の防災情報システムの機能向上を図るとともに、衛星電話等を利用した新たな情報システムの整備を進めます。

(2) 災害時活動拠点の整備及び機能強化

- ・災害対策本部等の機能強化を図るとともに、現地災害対策本部等の耐震化や警察署等の応急活動拠点の整備など、災害活動拠点の整備を進めます。

(3) 応急活動用装備の強化

- ・防災用ヘリコプターの整備や、緊急交通路等の確保のための装備の強化、また、医薬品等の確保を進めます。

(4) 広域応援体制の確立

- ・七都県市との連携や、消防・警察の緊急援助隊等との連携などにより、都県域での連携を強化するとともに、県防災訓練の実施や他県と協同した訓練の実施など、訓練の充実を図ります。

(5) 市町村支援体制の確立

- ・市町村地震防災対策に対する緊急支援を実施するほか、小規模消防の広域化などを進めます。

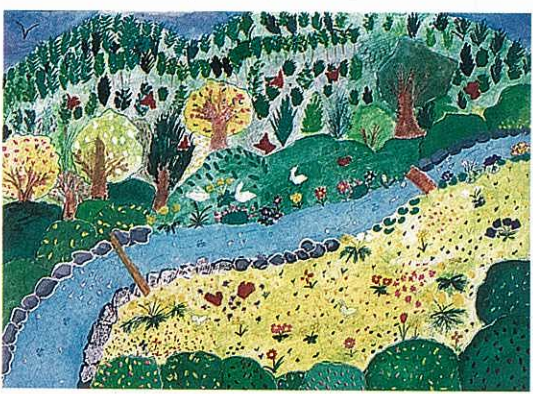
〈実施プログラム〉

| 構成施策 | 主体 | 施策実施年度 | | | | | | 5年間計(1997～2001) |
|--|--------------------|--------|----|----|----|----|------|--|
| | | 97 | 98 | 99 | 00 | 01 | 02以降 | |
| (1) 災害時情報対策の強化 ・防災情報システムの機能向上 | 県 | [実施期間] | | | | | | 地上系防災行政無線の再整備、衛星電話・通信車等の整備、広域災害医療情報システムの整備 |
| (2) 災害時活動拠点の整備及び機能強化 ・災害対策本部等の機能強化 ・災害活動拠点の整備 ・ヘリポートの整備 | 県 県、民間 県 | [実施期間] | | | | | | 災害対策本部の設備等の整備 現地災害対策本部庁舎・土木事務所・警察署・県立高校等の耐震補強工事、建替及び災害時医療活動拠点整備 ヘリポート適地調査、サブヘリポートの借上 |
| (3) 応急活動用装備の強化 ・防災用ヘリコプターの導入 ・緊急交通路等の確保 ・医薬品等の確保 | 県 県 県 | [実施期間] | | | | | | 機体・装備等の整備 1機 備蓄基地の整備 2か所、緊急交通路確保用車両等の整備 災害用医薬品の備蓄・搬送システム整備 |
| (4) 広域応援体制の確立 ・都県域での連携及び訓練の実施 | 県、 関係機関 | [実施期間] | | | | | | 七都県市災害時相互応援対策連絡会議・在日米軍連絡会議等の開催、 大規模地震・津波対策訓練・石油コンビナート等防災訓練の実施 |
| (5) 市町村支援体制の確立 ・市町村地震防災対策に対する緊急支援の実施及び消防力の広域化及び消防職員の教育環境の整備 | 県、市町村 | [実施期間] | | | | | | 市町村地震防災対策の緊急支援、消防力基本課題研究会等の開催 |

（目次）

1. 神奈川県の自然環境の現状と課題（1）
 2. 自然環境の保全と活用（2）
 3. 自然環境の保全と活用（3）
 4. 自然環境の保全と活用（4）
 5. 自然環境の保全と活用（5）
 6. 自然環境の保全と活用（6）
 7. 自然環境の保全と活用（7）
 8. 自然環境の保全と活用（8）

（編者としてのコメント）



自分のまちが こんなふうになったらいいなあ
 箱根町立仙石原小学校 第3学年
 高山 愛弓美 (たかやま あゆみ)
 (「21世紀 (あす) の神奈川」絵と作文コンクールから)

（編者としてのコメント）

東京都立総合教育センター
東京都立総合教育センター
東京都立総合教育センター

東京都立総合教育センター
東京都立総合教育センター
東京都立総合教育センター

東京都立総合教育センター
東京都立総合教育センター
東京都立総合教育センター